

社会福祉専攻：4年次編入学生 カリキュラム（2023年10月以降入学） 2026年度版

卒業に必要な単位数：124単位以上

入学後に必要な修得単位数：40単位以上

■必修40單位以上

区分	編入学時	編入学後		合計
	包括認定	必修	選択	
共通科目	48単位	－	－	48単位以上
学科科目	42単位	40単位	－	92単位以上
合計	90単位	40単位	－	130単位以上

- (1) 学科科目(必修)を40単位修得すると、**3月で自動的に卒業**となります。
学士を取得するだけの場合は、学科科目34単位を修得することで、**申請により卒業**することができます。
 - (2) 各年度に履修できる単位数は、**64単位を上限**とします(再履修科目を除く)。
 - (3) 「心理・仏教学系科目」から履修できる単位数は、**8単位を上限**とします。
 - (4) **認定心理士資格申請のためには、「認定心理士科目」から36単位以上の修得が必要です。**
資格申請を目指す場合は、必ず「**通信教育部ガイド:取得できる資格**」にて必要な科目をご確認ください。
 - (5) **個別認定単位**は、卒業所要単位数に算入されます。
 - (6) **相談援助業務の実務経験による履修免除科目(選択10単位)**は卒業所要単位数には含まれません。
また、「社会福祉演習1～3」を修得しなければ社会福祉士受験資格は取得できませんので、ご注意ください。
 - (7) **自己育成能力開発科目**は、対応する社会福祉系科目(社会福祉士指定科目)を修得した方のみ履修できます(同年度履修可能)。
 - (8) **社会福祉士受験資格を取得**するには、科目名欄にある■(必修40単位)と□(選択29単位)の**合計69単位**の修得もしくは免除が必要です。
□の科目は、修得しなくても卒業所要単位数を満たせば自動的に卒業となりますが、**卒業後に科目等履修生として履修することはできません**のでご注意ください。
- **社会福祉士の受験資格などについては「通信教育部ガイド:取得できる資格」をご確認ください。**

開講年次	4年★: 秋入学者は入学半年後に履修可能、春入学者は2年目以降に履修可能です。 (入学前に指定科目を修得済で、単位認定された場合は1年目から履修可能です。詳細は「通信教育部ガイド」「04.単位認定」をご参照ください。)
学修方法	S: スクーリング科目 T: テスト科目 R: レポート科目 TR: テスト・レポート科目 SR: スクーリング・レポート科目 ST: スクーリング・テスト科目 STR: スクーリング・テストレポート科目
科目名	■: 「社会福祉士」指定科目かつ学科科目(必修40単位) □: 「社会福祉士」指定科目かつ学科科目(選択29単位) 介: 「介護福祉士」有資格者(2011年までに取得)の認定科目(必修10単位) 免1: 「介護福祉士」「精神保健福祉士」履修免除科目(選択1単位) ※ 精神保健福祉士養成課程における「ソーシャルワーク実習」及び介護福祉士養成課程における「介護実習」を修得した者のみ対象。 (「精神保健福祉士援助実習」を履修して精神保健福祉士の有資格者となった場合は対象外) 免2: 相談援助業務の実務経験による履修免除科目(選択11単位)
単位数	()内の数字は、その科目で修得できるスクーリング単位数です。
スクーリング	ライブ: 対面やZoomなどリアルタイムで受講する形式 メディア: 録画された授業を視聴する形式

2025年10月時点の予定であり、変更になる場合があります。

開講年次	科目区分	科目名	学修方法	単位数		スクーリング					備考	
				必修	選択	授業方法		コマ数	日数	受講料		
						ライブ	メディア					
学科科目												
4年	基礎科目	大学基礎	TR		1							
	セルフディベロプメント科目	SDGs基礎	T		1							
	社会福祉系科目	医学概論	介 ■	T	2							
		心理学と心理的支援	□	T		2						
		社会学と社会システム	□	T		2						
		社会福祉の原理と政策	介 ■	T	4							
		社会福祉調査の基礎	■	T	2							
		ソーシャルワークの基盤と専門職1	■	T	2							★実習要件科目
		ソーシャルワークの基盤と専門職2	■	T	2							★実習要件科目
		ソーシャルワークの理論と方法1	■	T	4							★実習要件科目
		ソーシャルワークの理論と方法2	■	T	4							★実習要件科目
		地域福祉と包括支援体制1	■	T	2							
		高齢者福祉	介 ■	T	2							
		障害者福祉	介 ■	T	2							
		児童・家庭福祉	■	T	2							
		社会福祉系科目	地域福祉と包括支援体制2	■	T	2						
	福祉サービスの組織と経営		■	T	2							
	社会保障		■	T	4							
	貧困に対する支援		■	T	2							
	保健医療と福祉		■	T	2							
	権利擁護を支える法制度		□	T		2						
	刑事司法と福祉		□	ST		2 (1)	○		7	2	8,750	
	実践系科目	ソーシャルワークの倫理と実践		STR		2 (1)	○		7	2	7,500	★実習要件科目
	演習・実習系科目	ソーシャルワーク演習1	□	R		4						
		ソーシャルワーク演習2	□	SR		3 (2)	○		19	6	23,750	
		ソーシャルワーク演習3	□	SR		3 (1)	○		3	1	3,750	
		ソーシャルワーク実習指導1	免2 □	SR		3 (1)	○		10	5	12,500	免除
		ソーシャルワーク実習指導2	免2 □	SR		2 (0)	○		6	4	7,500	免除
		ソーシャルワーク実習指導3	免2 □	SR		1 (0)	○		5	2	6,250	免除
ソーシャルワーク実習1		免1、免2 □	S		1 (1)	○		-	8以上	32,000	免除	
ソーシャルワーク実習2		免2 □	S		4 (4)	○		-	23以上	115,000	免除	

開講年次	科目区分	科目名	学修方法	単位数		スクーリング					備考	
				必修	選択	授業方法		コマ数	日数	受講料		
						ライブ	メディア					
学科科目												
4年★	セルフディベロプメント科目	SDGs発展	SR		2 (1)	○		7	2	7,500	◆履修条件参照	
		アカデミック・ライティング	SR		2 (1)	○		7	2	7,500		
		キャリアコミュニケーション	ST		2 (1)	○		7	2	7,500		
		人間科学概論	ST		2 (1)	○		7	2	7,500		
	自己育成能力開発科目	医学概論(自己育成)	T		2							
		社会福祉の原理と政策(自己育成)	T		4							
		社会福祉調査の基礎(自己育成)	T		2							
		ソーシャルワークの基盤と専門職1(自己育成)	T		2							
		ソーシャルワークの基盤と専門職2(自己育成)	T		2							
		ソーシャルワークの理論と方法1(自己育成)	T		4							
		ソーシャルワークの理論と方法2(自己育成)	T		4							
		地域福祉と包括支援体制1(自己育成)	T		2							
		地域福祉と包括支援体制2(自己育成)	T		2							
		福祉サービスの組織と経営(自己育成)	T		2							
		社会保障(自己育成)	T		4							
		高齢者福祉(自己育成)	T		2							
		障害者福祉(自己育成)	T		2							
		児童・家庭福祉(自己育成)	T		2							
		貧困に対する支援(自己育成)	T		2							
		保健医療と福祉(自己育成)	T		2							
	実践系科目	社会福祉経営と社会経済〔隔年開講〕	STR		2 (1)	○		7	2	7,500	R8:休講 R9:開講	
		貧困と社会構造〔隔年開講〕	STR		2 (1)	○		7	2	7,500	R8:休講 R9:開講	
		スクールソーシャルワーク実践〔隔年開講〕	STR		2 (1)	○		7	2	7,500	R8:開講 R9:休講	
		子どもの社会的養護と家族支援〔隔年開講〕	STR		2 (1)	○		7	2	7,500	R8:開講 R9:休講	
	認定心理士科目	心理学概論	T		4							
		心理測定法	STR		4 (2)	○	○	14	4	15,000		
			TR		4							
		心理学実験実習1	R		2							
		学習心理学	T		4							
		発達心理学	T		4							
		臨床心理学	T		4							
		社会心理学	T		4							
		認知心理学	R		4							
		パーソナリティ心理学	T		4							
		教育心理学	ST		4 (2)	○	○	14	4	15,000		
			T		4							
		心理学実験実習2	SR		2 (1)	○		14	4	17,000		
	心理・仏教学系科目	精神医学	T		2							
		家族関係論	S		2 (2)		○	14		15,000		
		人間論	S		2 (2)		○	14		15,000		
		ヒンドゥーの文化と思想	S		2 (2)	○		14	4	15,000		
		実践仏教	S		2 (2)	○		14	4	22,000		
		坐禅研修	S		2 (2)	○		14	3	28,000		
		念仏研修	S		2 (2)	○		14	3	45,000		
		仏跡研修	S		2 (2)	○		－	6泊7日	15,000		
		生活仏教(日本仏教の諸宗派)	S		2 (2)	○		14	4	15,000		
◆受講料内訳												
実践仏教		スクーリング受講料に「坐禅のための坐布代金と写経のためのお手本と用紙代金(7,000円)」を含む										
坐禅研修		スクーリング受講料に「宿泊・食事費等(13,000円)」を含む										
念仏研修		スクーリング受講料に「宿泊・食事費等(30,000円)」を含む										
心理学実験実習2		スクーリング受講料に「実験機器維持費(2,000円)」を含む										
◆履修条件 ※詳細はスタディガイドをご覧ください。												
SDGs発展		「SDGs基礎」を単位修得していること										